

平成 19 年 8 月 13 日

各 位

住 所	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号
会 社 名	GMO インターネット株式会社
代 表 者	代表取締役会長兼社長 熊 谷 正 寿 (コード番号 9449 東証第一部)
問い合わせ先	専務取締役管理部門統括・ グループ経営戦略・IR 担当 安 田 昌 史
T E L	0 3 - 5 4 5 6 - 2 5 5 5 (代)
U R L	<a href="http://www.gmo.jp">http://www.gmo.jp</a>

## 平成 19 年 12 月期 業績予想の修正及び配当予想の修正のお知らせ

当社は、平成 19 年 2 月 22 日付「平成 18 年 12 月期 決算短信」及び平成 19 年 5 月 11 日付「平成 19 年 12 月期 中間業績予想の修正のお知らせ」において発表いたしました平成 19 年 12 月期の業績予想について、下記のとおり修正いたします。

なお、当該開示につきましては、「本日の一連の開示内容についてのご説明」の開示文書ならびに「ローン・クレジット事業撤退に伴う戦略説明会資料」をご参照願います。

[http://ir.gmo.jp/irlibrary/pdf/20070813\\_01.pdf](http://ir.gmo.jp/irlibrary/pdf/20070813_01.pdf)

## 1. 連結業績予想の修正

## (1) 中間期 (平成 19 年 1 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成 19 年 5 月 11 日付 前回予想 (a)	百万円 29,000	百万円 3,300	百万円 3,000	百万円 700
今回発表 (b)	30,029	10,495	10,813	15,699
増減額 (b-a)	1,029	13,795	13,813	16,399
増減率	3.5%	- %	- %	- %
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 6 月期)	23,042	2,009	1,927	193

## (2) 通期 (平成 19 年 1 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成 19 年 2 月 22 日付 前回予想 (a)	百万円 60,000	百万円 7,000	百万円 6,300	百万円 2,500
今回発表 (b)	46,500	8,600	9,300	13,000
増減額 (b-a)	13,500	15,600	15,600	15,500
増減率	22.5%	- %	- %	- %
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 12 月期)	50,842	4,271	3,992	12,099

## 2. 個別業績予想の修正

### (1) 中間期 (平成 19 年 1 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成 19 年 5 月 11 日付	百万円	百万円	百万円	百万円
前回予想 (a)	6,500	750	700	500
今回発表 (b)	6,589	788	738	22,770
増減額 (b-a)	89	38	38	23,270
増減率	1.4%	5.1%	5.4%	- %
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 6 月期)	5,938	577	1,325	1,417

### (2) 通期 (平成 19 年 1 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成 19 年 2 月 22 日付	百万円	百万円	百万円	百万円
前回予想 (a)	13,000	1,230	1,580	1,250
今回発表 (b)	13,000	1,230	950	20,800
増減額 (b-a)	0	0	630	22,050
増減率	- %	- %	39.9%	- %
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 12 月期)	12,133	1,188	1,867	3,891

## 3. 業績予想の修正理由

中間連結業績予想においては、主にローン・クレジット事業における直近の利息返還実績と業界動向を踏まえ将来の利息返還請求に関するリスクを最大限見積もったこと等により、利息返還関連損失が当初見込みに比較し約 140 億円程度の追加計上となり（注：本中間期における計上額は、利息返還損失引当金繰入額が 72 億円、貸倒引当金繰入額 105 億円となっております）、さらにローン・クレジット事業の完全撤退の決定にともない「のれん」の減損損失を約 59 億円及び新株予約権の評価損を 5 億円計上いたしました。一方、上記に伴い繰延税金資産約 33 億円の計上を行い、法人税等調整額がプラスに見込まれること等により、上記のとおり修正いたします。

通期連結業績予想においては、上記中間連結業績予想の修正理由に加え、ローン・クレジット事業の完全撤退による GMO ローン・クレジットホールディングス(株)を初めとする連結子会社 18 社の連結対象からの除外、また、同じく連結子会社である GMO インターネット証券(株)の株式譲渡による連結対象からの除外により、売上高で約 145 億円、営業利益で約 20 億円、経常利益で約 20 億円、当期利益で約 12 億円の減少となる見込みであります。一方、同じく本日開示いたしました、子会社株式の売却により約 35 億円の特別利益が計上される見込みであること等から、上記のとおり修正いたします。

なお、ローン・クレジット事業の完全撤退により、今後一切の利息返還関連損失の計上はありません。

中間個別業績予想におきましては、ローン・クレジット事業の完全撤退による子会社である GMO ローン・クレジットホールディングス(株)の子会社株式の評価損 263 億円及び新株予約権の評価損 5 億円を計上すること、一方、上記に伴い繰延税金資産約 33 億円の計上を行い、法人税等調整額がプラスに

見込まれること等により、上記のとおり修正いたします。

通期個別業績予想におきましては、上記中間業績予想の理由に加え、ローン・クレジット事業の撤退等に伴い子会社から配当金収入が見込まれなくなったことより約 6 億円減少するものの、本日開示いたしました子会社株式の売却益で約 30 億円の関係会社株式売却益が特別利益に計上される見込みであること等から、上記のとおり修正いたします。

#### 【参考資料】

##### 1. 全社ベースの通期業績予想の修正要因について

単位：百万円	当初計画	ローン・クレジット事業の 上期差異（主に利息返還金 関連費用）	金融事業下期 連結除外の影響 （当初計画比）	インフラ・ メディア事 業の通期プ ラス差異	修正後予想
売上	60,000	1,800	14,500	2,800	46,500
営業利益	7,000	13,800	2,000	200	8,600
経常利益	6,300	13,800	2,000	200	9,300

##### 2. ネット金融事業を除く、インフラ、メディア事業の業績予想について

単位：百万円	当初計画	インフラ・メ ディア事業の 通期プラス差 異	修正後予想
売上	30,200	2,800	33,000
営業利益	3,500	200	3,700
経常利益	2,800	200	3,000

##### 4. 配当予想の修正

平成 19 年 2 月 22 日付「平成 18 年 12 月期 個別財務諸表の概要」で公表いたしました配当予想について、上記理由に伴い大変不本意ではありますが、配当を見送ることと致しました。

	中間配当金額	期末配当金額	年間配当金額
平成 19 年 12 月期予想	- 円 - 銭	- 円 - 銭	- 円 - 銭
前 回 予 想 (平成 19 年 2 月 22 日)	3 円 00 銭	7 円 00 銭	10 円 00 銭

なお、本業績見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上